



## 多面的機能支払交付金 活動事例紹介

～ 地域とともに、ひまわりの植栽活動 ～



### 1.組織の概要

下吾川第1区地域保全協議会は、伊予市の市街地近郊で活動する組織です。この活動組織は、平成21年度から交付金活動を開始しており、今年で17年目となります。現在活動を行う対象農用地は、約15.4ha（田約14.0ha畑約1.4ha）で、農地維持、資源向上（共同・長寿命化）のすべてに取り組んでいます。

### 2.ひまわりを通じた地域交流

同地域では、非農業世帯の転入者増加等により、農業者と非農業者の混在化が進んでいます。そのような中、地域内の交流を図るため、毎年、ひまわりの植栽活動を実施しています。

6月下旬、地域の子どもたちやその保護者、高齢者等約100名が参加し、今年も苗の植付け作業を行いました。当日は、町内放送とともに、地域の人たちが次々に集まってきて、この活動が地域で定着していると感じました。参加者は、「毎年来ています」「今年、初めて参加しました」と様々でしたが、活動組織の皆さんの指導を受けながら、手際よく作業をし、今後のひまわりの成長をととても楽しみにされていました。

準備をされた役員の皆さんも「今年も、多くの子どもたちが参加してくれ、楽しそうな姿が見られてよかった。よい体験になったのではないかと顔をほころばせていました。

さらに、この地域では、毎年、ひまわりの咲く時期に併せて地区の夏まつり「七夕ちょうちんまつり」（約700名参加）を開催しているとのことで、お祭りを通じてさらなる交流を図っているそうです。

### 3.地域とともに

同地域では、ひまわりを通じた交流活動の他、年2回の水路・農道の清掃等農業施設の保全管理活動についても、非農業者の協力を得て一緒に行っています。

組織代表は「今後も、これらの活動を通じて、地域住民の農業や環境保全活動の重要性についての理解が深まり、地域みんなで農業資源を守っていくといくことができれば」とお話されていました。

